

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公表番号】特表2013-514372(P2013-514372A)

【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-544748(P2012-544748)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 3

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 Z N A G

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

必要とする対象における心筋虚血を治療または予防する方法であって、前記対象の心臓細胞における表 1 および 2 に記載された 1 種以上の m i R N A の発現または活性を調節することを含む方法。

【請求項 2】

前記 1 種以上の m i R N A が、m i R - 3 2 0、m i R - 1 9 9 a、m i R - 1 5 ファミリーメンバー、m i R - 2 1、m i R - 2 6 a、l e t - 7 b、m i R - 2 1 4、m i R - 1 0 a、m i R - 1 0 b、m i R - 5 7 4、m i R - 9 2 a、m i R - 4 9 9、m i R - 1 0 1 a、m i R - 1 0 1 b、m i R - 1 2 5 b、m i R - 1 2 6、m i R - 3 0 ファミリーメンバー、m i R - 1 4 3、m i R - 1 4 5、m i R - 1 8 5、m i R - 3 4 a、m i R - 1、m i R - 1 3 3、m i R - 2 1 0、および m i R - 2 9 a ~ c からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記調節が、前記対象にm i R - 3 2 0、m i R - 1 9 9 a、m i R - 1 5 ファミリー

メンバー、*miR-92a*、*miR-21*、*miR-499*、および*miR-30*ファミリーメンバーからなる群から選択される１種以上の*miRNA*の阻害剤を投与することを含む、請求項２に記載の方法。

【請求項４】

１種以上の*miRNA*の前記阻害剤が、アンチセンスオリゴヌクレオチドまたはアンタゴ*miR*である、請求項３に記載の方法。

【請求項５】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、前記１種以上の*miRNA*の成熟配列と少なくとも部分的に相補的である配列を含む、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、少なくとも１つの糖および／または骨格修飾を含む、請求項４に記載の方法。

【請求項７】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、約８～約１８ヌクレオチド長である、請求項４に記載の方法。

【請求項８】

前記調節が、前記対象に*miR-126*、*miR-143*、*miR-210*、および*miR-29a～c*からなる群から選択される１種以上の*miRNA*のアゴニストを投与することを含む、請求項２に記載の方法。

【請求項９】

１種以上の*miRNA*の前記アゴニストが、前記１種以上の*miRNA*の成熟配列を含むポリヌクレオチドである、請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

前記アゴニストが発現構築物から発現される、請求項９に記載の方法。

【請求項１１】

前記阻害剤またはアゴニストが、静脈内投与、皮下投与、または心臓組織内への直接注射によって前記対象に投与される、請求項３または８に記載の方法。

【請求項１２】

前記阻害剤またはアゴニストが、経口、経皮、持続放出、制御放出、遅延放出、坐剤、カテーテル、または舌下投与によって前記対象に投与される、請求項３または８に記載の方法。

【請求項１３】

前記対象が冠動脈疾患を有する、請求項１に記載の方法。

【請求項１４】

前記１種以上の*miRNA*の発現または活性の調節後、心筋細胞の喪失が前記対象において軽減または抑制される、請求項１に記載の方法。

【請求項１５】

第２の心臓治療剤を投与することをさらに含む、請求項１に記載の方法。

【請求項１６】

前記第２の心臓治療剤が、抗狭心症薬、遮断薬、イオノトロープ、利尿薬、ACE阻害剤、２型アンジオテンシンアンタゴニスト、エンドセリン受容体アンタゴニスト、HDA阻害剤、およびカルシウムチャネル遮断薬からなる群から選択される、請求項１２に記載の方法。

【請求項１７】

前記対象がヒトである、請求項１に記載の方法。

【請求項１８】

必要とする対象における低酸素に応答した心筋細胞の喪失を予防または軽減する方法であって、*miR-199a*、*miR-320*の阻害剤、および／または*miR-210*のアゴニストを前記対象に投与することを含む方法。

【請求項１９】

前記 m i R - 1 9 9 a または m i R - 3 2 0 の阻害剤が、アンチセンスオリゴヌクレオチドまたはアンタゴ m i r である、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記 m i R - 2 1 0 のアゴニストが、m i R - 2 1 0 の成熟配列を含むポリヌクレオチドである、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記アゴニストが H I F 1 である、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記アゴニストが発現構築物から発現される、請求項 1 8 に記載の方法。